

〔様式5〕令和5年度 羽村市立羽村西小学校 学校経営報告（学校評価報告表） 学校教育目標 ◎よく考えて進んで学ぼう ○みとめあいたすけあおう ○じょうぶな体をつくろう 3学期

【目指す学校像】 子どもが学ぶ喜びと自信がもてる学校、保護者・地域から信頼される学校、チーム力を生かし、主体的に課題を解決する学校
 【目指す児童像】 ○よく考え進んで学ぶ子 ○みとめあいたすけあう子 ○じょうぶな体をつくる子
 【目指す教師像】 ○基本的な学習習慣を児童に定着させる教師 ○あいさつ、返事、気持ちの良い言葉づかいが自然にできる児童を育成する教師 ○基本的な運動習慣を児童に定着させる教師

前年度までの学校経営上の成果と課題【成果】・学力の現状を分析し、くり返しの学習を重視し確かな学力の定着に努めた。・児童に“あじみこしほ”が浸透し、学習・生活規律の徹底が図れた。・教師が指導力向上の意識を高くもち、率先して授業改善（箇条書きで簡潔に） 【課題】・児童に基礎、基本の知識や技能を定着させ、学力の向上を図る。・ICTも利活用し、個別最適な学びと協働的な学びの実現を目指す。・働き方改革を推進し、児童に向き合う時間の確保と教職員の活

3つの施策	中期経営目標 (施策の内容)	【取組・努力】の評価基準(学校・教職員の姿勢、取組状況)	評定	3学期 評定	実態や改善に向けた意見	【成果】の評価基準(児童・生徒の変容)	評定	3学期 評定	実態や改善に向けた意見
小中一貫教育を柱とした特色ある教育の推進	①小中一貫教育の推進	【小中一貫教育の推進】肯定的な回答が80%以上	4	3	78%という結果であった。小中一貫カリキュラム等開発委員会で作成した資料を活用し、中学校区で情報共有を図りながら小中一貫教育の充実を推進する。	ICTも活用したドリル学習や個に応じた学習をしたと回答した5・6年児童が80%以上	4	3	69%という結果であった。特に高学年では、ドリルより授業中のまとめや対話に使うことが多かったこともあると考えられる。ドリルは長期休業中や日々の宿題、また学習のまとめの時に活用していたが、日常での活用を増やす必要がある。
		【小中一貫教育の推進】肯定的な回答が70%以上	3			ICTも活用したドリル学習や個に応じた学習をしたと回答した5・6年児童が70%以上	3		
		【小中一貫教育の推進】肯定的な回答が60%以上	2			ICTも活用したドリル学習や個に応じた学習をしたと回答した5・6年児童が60%以上	2		
		【小中一貫教育の推進】肯定的な回答が60%未満	1			ICTも活用したドリル学習や個に応じた学習をしたと回答した5・6年児童が60%未満	1		
	②確かな学力の定着	【確かな学力の定着】肯定的な回答が80%以上	4	4	85%という結果であった。羽村の授業指針を推進し、授業観察の指導案に明記させるなどし、意識を高めて推進することができた。また、1人1台端末の活用も進み、目標を達成できた。来年度に向けて校内研究では自由進度学習なども取り入れ、さらなるICTも有効活用しながら、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を行い、学力向上に努めていく。	授業が分かる、トライ&エラーでねばり強く取り組んだ、と回答した児童が80%以上	4	4	82%という結果であった。儀式や全校朝会でくり返し話し、教員も日々伝えたことで、児童が失敗しても良いからチャレンジしようということが徐々に増えてきた。
【確かな学力の定着】肯定的な回答が70%以上		3	授業が分かる、トライ&エラーでねばり強く取り組んだ、と回答した児童が70%以上			3			
【確かな学力の定着】肯定的な回答が60%以上		2	授業が分かる、トライ&エラーでねばり強く取り組んだ、と回答した児童が60%以上			2			
【確かな学力の定着】肯定的な回答が60%未満		1	授業が分かる、トライ&エラーでねばり強く取り組んだ、と回答した児童が60%未満			1			
③特色のある教育の推進	【特色ある教育の推進】肯定的な回答が80%以上	4	3	74%という結果であった。体力向上・外国語についてはブログ等でも紹介したため認知度が上がってきたが、SDGsについてあまり伝えることができなかった。来年度は表現力を高める学芸発表会も取り組むことで特色ある教育を推進していく。	様々な体験学習に取り組んだ、と回答した3年生以上の児童が80%以上	4	4	93%という結果であった。コロナ禍が明けたこともあり、様々な体験学習を実施することができ、良い結果となった。来年度も推進していく。	
	【特色ある教育の推進】肯定的な回答が70%以上	3			様々な体験学習に取り組んだ、と回答した3年生以上の児童が70%以上	3			
	【特色ある教育の推進】肯定的な回答が60%以上	2			様々な体験学習に取り組んだ、と回答した3年生以上の児童が60%以上	2			
	【特色ある教育の推進】肯定的な回答が60%未満	1			様々な体験学習に取り組んだ、と回答した3年生以上の児童が60%未満	1			
	【新しい課題に対応した教育の推進】肯定的な回答が80%以上	4			3	78%という結果であった。情報モラル教育を校内では進めてきたが、ICTの活用も増え、完全とは言えなかった。来年度は、年間計画に沿って確実に推進していくようにする。			授業でタブレットを進んで活用した、と西小端末使用ルールを守った、と回答した3年生以上の児童が80%以上
【新しい課題に対応した教育の推進】肯定的な回答が70%以上	3	授業でタブレットを進んで活用した、と西小端末使用ルールを守った、と回答した3年生以上の児童が70%以上	3						
【新しい課題に対応した教育の推進】肯定的な回答が60%以上	2	授業でタブレットを進んで活用した、と西小端末使用ルールを守った、と回答した3年生以上の児童が60%以上	2						
【新しい課題に対応した教育の推進】肯定的な回答が60%未満	1	授業でタブレットを進んで活用した、と西小端末使用ルールを守った、と回答した3年生以上の児童が60%未満	1						
⑤人権教育の推進と道徳教育の充実	【人権教育の推進と道徳教育の充実】肯定的な回答が80%以上	4	4	90%という結果であった。道徳授業地区公開講座や日頃の道徳の授業をブログで公開したり、年間3回の授業観察のうち1回は道徳にすることで、充実させることができた。	道徳授業で教材や友だちの意見も参考にして、深く考えた、と回答した児童が80%以上	4	4	86%という結果であった。道徳の授業では羽村の道徳科授業指針にのっとり多面的多角的な思考の促進に努めた成果が表れてきている。	
	【人権教育の推進と道徳教育の充実】肯定的な回答が70%以上	3			道徳授業で教材や友だちの意見も参考にして、深く考えた、と回答した児童が70%以上	3			
	【人権教育の推進と道徳教育の充実】肯定的な回答が60%以上	2			道徳授業で教材や友だちの意見も参考にして、深く考えた、と回答した児童が60%以上	2			
	【人権教育の推進と道徳教育の充実】肯定的な回答が60%未満	1			道徳授業で教材や友だちの意見も参考にして、深く考えた、と回答した児童が60%未満	1			
	【特別支援教育の推進】肯定的な回答が80%以上	4			4	84%という結果であった。3年生と5年生にははたきツアーという、特別支援教室について説明する授業を行うなど特別支援に対する理解を深めるとともに、校内支援委員会を組織的にしっかり行うことで充実させることができた。			友達のことを思いやり、仲良く過ごすことができたと回答した児童が80%以上
【特別支援教育の推進】肯定的な回答が70%以上	3	友達のことを思いやり、仲良く過ごすことができたと回答した児童が70%以上	3						
【特別支援教育の推進】肯定的な回答が60%以上	2	友達のことを思いやり、仲良く過ごすことができたと回答した児童が60%以上	2						
【特別支援教育の推進】肯定的な回答が60%未満	1	友達のことを思いやり、仲良く過ごすことができたと回答した児童が60%未満	1						
⑦子供たちが楽しく通える学校の実現	【子供たちが楽しく通える学校の実現】肯定的な回答が80%以上	4	4	94%という結果であった。保護者からは多くの児童が楽しく通っていると高評価を得たが、不登校傾向の児童も在籍しているため、さらにきめ細かい組織的な対応を進めていく。	学校は楽しいと回答した児童が80%以上	4	4	86%という結果であった。多くの児童が楽しく通っていると回答したが、不登校傾向の児童も在籍しているため、さらにきめ細かい組織的な対応を進めていく。	
	【子供たちが楽しく通える学校の実現】肯定的な回答が70%以上	3			学校は楽しいと回答した児童が70%以上	3			
	【子供たちが楽しく通える学校の実現】肯定的な回答が60%以上	2			学校は楽しいと回答した児童が60%以上	2			
	【子供たちが楽しく通える学校の実現】肯定的な回答が60%未満	1			学校は楽しいと回答した児童が60%未満	1			
⑧児童・生徒理解に基づく指導体制の構築	【児童理解に基づく指導体制の構築】肯定的な回答が80%以上	4	4	90%という結果であった。体罰等服務事故はなかったが、さらに信頼関係を高められるように丁寧な対応を続けていく。	【児童理解に基づく指導】肯定的な回答が80%以上	4	4	90%という結果であった。た。多くの児童が先生はよく見てくれていると回答したが、不登校傾向の児童も在籍しているため、さらにきめ細かい組織的な対応を進めていく。	
	【児童理解に基づく指導体制の構築】肯定的な回答が70%以上	3			【児童理解に基づく指導】肯定的な回答が70%以上	3			
	【児童理解に基づく指導体制の構築】肯定的な回答が60%以上	2			【児童理解に基づく指導】肯定的な回答が60%以上	2			
	【児童理解に基づく指導体制の構築】肯定的な回答が60%未満	1			【児童理解に基づく指導】肯定的な回答が60%未満	1			
	研修会の実施率が100%	4			4	欠員が2名ある状況であったが100%実施できた。校内の研修では、受講した教員はもとより、講師役の教員も指導内容をより吟味することで理解を深め人材育成能力が向上した。			
研修会の実施率が80%以上	3		3						
研修会の実施率が60%以上	2		2						
研修会の実施率が60%未満	1		1						
⑩保護者や地域住民の協力・参画	【保護者や地域住民の協力・参画】肯定的な回答が80%以上	4	3	74%という結果であった。働き方改革と地域への貢献のバランスにおいて難しい面があった。来年度CS委員会でしっかり議論し、協力を仰ぎ保護者・地域住民との協力・参画を進めていく。	【教育活動の公開】肯定的な回答が80%以上	4	4	94%という結果であった。ほぼ毎日ブログを更新することで、多くの閲覧数となり、好評であった、来年度も継続していく。	
	【保護者や地域住民の協力・参画】肯定的な回答が70%以上	3			【教育活動の公開】肯定的な回答が70%以上	3			
	【保護者や地域住民の協力・参画】肯定的な回答が60%以上	2			【教育活動の公開】肯定的な回答が60%以上	2			
	【保護者や地域住民の協力・参画】肯定的な回答が60%未満	1			【教育活動の公開】肯定的な回答が60%未満	1			
読書活動や図書館の利用及び学校の特色や独自性のある取組	【読書活動や図書館の利用及び学校の特色や独自性のある取組】肯定的な回答が80%以上	4	1	58%という結果であった。低学年では90%を超えていたが、学年が進むほど隙間時間にICT活用時間が増え、読書にじっくり取り組む児童が少し減ってしまった。読書旬間なども実施したが、日常化へのつながりが弱かった。	【朝読書の時間などを通して読書に親しんだ、と休み時間元気に校庭で遊んだり、運動を頑張ったりした】と回答した児童が80%以上	4	3	読書については58%、運動については86%という結果であった。運動は達成できたが前述のとおり、読書は上の学年になるほど少なくなってしまった。	
	【読書活動や図書館の利用及び学校の特色や独自性のある取組】肯定的な回答が70%以上	3			【朝読書の時間などを通して読書に親しんだ、と休み時間元気に校庭で遊んだり、運動を頑張ったりした】と回答した児童が70%以上	3			
	【読書活動や図書館の利用及び学校の特色や独自性のある取組】肯定的な回答が60%以上	2			【朝読書の時間などを通して読書に親しんだ、と休み時間元気に校庭で遊んだり、運動を頑張ったりした】と回答した児童が60%以上	2			
	【読書活動や図書館の利用及び学校の特色や独自性のある取組】肯定的な回答が60%未満	1			【朝読書の時間などを通して読書に親しんだ、と休み時間元気に校庭で遊んだり、運動を頑張ったりした】と回答した児童が60%未満	1			